

愛媛県鳥獣害防止対策推進会議議事録

- 1 会議の名称 愛媛県鳥獣害防止対策推進会議
- 2 開催日時 令和6年6月11日(火)13時30分から15時30分
- 3 開催場所 愛媛県庁議事堂4階観光スポーツ文教警察委員会室
- 4 出席者

[委員]

愛媛県農林水産部農業振興局長	小川 英伸
愛媛県県民環境部環境局自然保護課長	山内 重宣
愛媛県農林水産部農業振興局農産園芸課長	峯下 寿樹
愛媛県農林水産部森林局森林整備課主幹	山本 貴人(代理)
愛媛県農林水産部水産局水産課長	梶田 陽一郎
愛媛県農業協同組合中央会総合企画部長	別府 和彦
愛媛県森林組合連合会事業部長	福住 隆雄
愛媛県農業共済組合共第一事業部長	栗田 昌保
愛媛県農業指導士会長	大内 明男

[オブザーバー]

中国四国農政局愛媛県拠点地方参事官	宮本 隆明
四国森林管理局愛媛森林管理署森林技術指導官	川村 之二
愛媛県警察本部生活安全部生活環境課保安係長	中村 健太

[活動報告者]

愛媛県果樹研究センター研究員	大熊 祐之介
----------------	--------

[事務局]

愛媛県農林水産部農業振興局農産園芸課	中野主幹 田中、二宮、井上
--------------------	------------------

- 5 傍聴者 なし
- 6 公開 全部公開
- 7 議事

(1) 令和5年度鳥獣による農作物等の被害状況について

○事務局より資料1について説明。

○愛媛県農業指導士会長の田中委員から、自らの農業経営の経験からイノシシは品種毎に嗜好性があるようであるため、順にワイヤーメッシュ柵を整備し被害防除に努めており被害は減少している。サルについては、山間部のブドウを食害し、その後にカンキツの被害がある状況との説明があった。

(2) 鳥獣害防止対策関係事業の概要について

○事務局より資料2について説明。

○意見なし

(3) 鳥獣害防止対策への取組実証について

○愛媛県果樹研究センターの大熊研究員から、ブドウの主幹・主枝を足場にして加害する有害獣に対して、主枝上に電線を張り通電することで加害獣を防護する研究について報告。

○主な意見

(大内委員)

・電線はどのように主枝上に張るのか。

(大熊研究員)

→碍子を用いて主枝上に張っている。

(小川会長)

・すぐに現地で実証できる状況か。また、補助事業は活用できるのか。

(大熊研究員)

→被害低減効果の確認など現地実証に向けて予備調査を実施しているところ。

(事務局)

→電気柵の整備は、国や県の事業が活用できる。

(4) 関係機関からの情報提供について

- 愛媛県自然保護課長の山内委員から、情報提供資料①の鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく各種計画の策定について情報提供。
- 今回、オブザーバーとして参加した中国四国農政局愛媛県拠点から情報提供資料②の鳥獣被害の現状と対策について情報提供。また、四国森林管理局愛媛森林管理署から、口頭にて国有林におけるニホンジカの捕獲状況について情報提供。

(5) その他

- 事務局から、ジビエの認知度向上や消費拡大を図ることを目的に、6月1日から30日までの1カ月間、「えひめのジビエ飲食店フェア」を開催しており、さらに7月5日の金曜日には、松山市の城山公園でキッチンカー10店舗程度が「ジビエ夏祭り」として、ジビエ料理を販売することを情報提供。